

# TCU Quarterly

—都市大だより—

2020.MAR.

No.215

2020年3月19日発行

東京都市大学 企画・広報室

東京都世田谷区玉堤1-28-1 TEL.03-5707-0104 <http://www.tcu.ac.jp>

## CONTENTS

- 02 特集1 第1回 東京都市大学  
ビジネスプランコンテスト
- 04 特集2 東京都市大学 第3回APシンポジウム
- 06 インターンシップ 成果報告会
- 07 2019年度 卒業生の就職状況
- 09 2019年度 就職内定先一覧
- 16 2019年度 進学先一覧
- 17 人事発令／表彰
- 19 2019年度 大学院論文主題
- 20 2020年度 入試速報
- 28 2019年度 学生表彰
- 31 2020年度 学生団体役員
- 32 課外活動
- 36 研究紹介
- 37 PERSON／BOOKS
- 38 NEWSラウンジ／夢キャン通信
- 40 Information  
(東京都市大学 横浜祭／オープンキャンパス／  
東京都市大学 校友会)

特集1 オリジナルのビジネスプランで真剣勝負！目指せ起業家！

## 第1回 東京都市大学 ビジネスプランコンテストを開催

TOKYO CITY UNIVERSITY BUSINESS PLAN CONTEST 2019



# 第1回 東京都市大学 ビジネスプラン コンテストを開催

オリジナルのビジネスプランで真剣勝負！  
目指せ起業家！

開催日：2020年1月8日(水)  
会場：横浜キャンパス 3号館



## 都市大の先輩起業家が審査員を務める 本学初のビジネスプランコンテストを開催

2020年1月8日(水)、横浜キャンパスにて、本学初となる「東京都市大学ビジネスプランコンテスト」を開催しました。

このコンテストは、1997年に開学した環境情報学部(現：環境学部・メディア情報学部)の1期生らが発起人となって実施したもので、本学の学生および若手研究者が、自身のアイデアをビジネス化するための方法を考案し、社会で必要とされるプレゼンテーション力やコミュニケーション力を鍛え、本学卒業生と強固なネットワークを構築することを目的としています。

2019年10月に募集・事前説明会を開始し、応募のあった15チーム(18プラン)の中から、書類・面接審査を通過した6チーム(6プラン)が、発起人らによる指導を経て、この日のコンテストに臨みました。

審査は、本学の卒業生でもある起業家の方々にお声がけし、審査員長を株式会社オールアバウト代表取締役社長の江幡 哲也氏(1987年電気工学科卒)、審査員を株式会社デジタルシフト

ウェーブ代表取締役の鈴木 康弘氏(1987年電気工学科卒)、アイロボットジャパン合同会社代表執行役員社長の挽野 元氏(1992年電気工学専攻修了)、株式会社トリドールホールディングス執行役員・磯村 康典氏(1993年機械工学科卒)に務めていただきました。錚々たるメンバーから直々にアドバイスをいただき、学生にとって大変貴重な機会となりました。



中村実行委員長による開会の挨拶



江幡審査委員長による講評



## すべてのチームが力を尽くして 独創的なプレゼンテーションを実施

開会の挨拶では、実行委員長のメディア情報学部 社会メディア学科の中村 雅子教授より、「都市大生はとても優秀だが、少々おとなしい印象がある。このコンテストで、これからの時代に必要とされる積極性と提案力を培ってほしい」と話がありました。最終選考に残った6チームは、質疑応答も含めた13分ほどの持ち時間を存分に使って、企画意図や集客のアイデア、市場分析、サービスの優位性、資金など、具体的なビジネスプランを提案しました。

審査では、市場・収益・独創性、ビジネス化といったポイントに加えて、プレゼンテーション能力が問われましたが、すべてのチームが、グラフや図版、写真などを用いて、独創性に富んだ発表を行いました。

厳正な審査の結果、最優秀賞にはビジネス化に最も近いと判断された「Layer's Agency」が、優秀賞には教育問題・社会課題をテーマとした「Direct Bridge」と「Virtual 地元」が、選出されました。

最優秀賞に選ばれた「Layer's Agency」のプランは、コスプレイヤー（アニメやマンガ、ゲームなどの登場人物に扮する人）を派遣し、コスプレのメイクレッスンを行うという斬新なものでした。年間の新規コスプレイヤーは約5～8万人もあり、同プランがメインのターゲットに設定しているのは、そのうち約3割にも上る男性コスプレイヤーです。レッスンの講師をフリーランスのコ

スプレイヤーに委託することで、供給の弾力性を確保するとともに低コストな地域展開を実現することがポイントです。「Layer's Agency」の提案者である深谷 拓実さん（知識工学部 知能情報工学科1年）は、「このプランを作り出せたのは、アドバイスをくださった諸先輩を始めとする皆様のおかげです。この経験を、これからの人生に役立てたいと思います」と話しました。また、他の5チームからも「本当に有意義な学びの場だった」「起業したくなった」「ビジネスの大変さを体験できた」などの声が挙がりました。なお、最優秀賞を受賞した深谷さんには、審査員の挽野氏よりロボット掃除機「ルンバ」が贈呈されました。

講評に立った審査委員長の江幡氏からは、「どのプランも素晴らしいものばかり。プレゼンテーションも、社会人顔負けの上手さでした。今後も熱い思いでビジネスプランを創造してほしい」とのお言葉をいただきました。

最後に、三木学長より「どんな大企業も始まりはスタートアップ企業でした。ビジネスマインドを醸成するには、こうした機会が本当に大切です。ビジネス界をリードする諸先輩方の力を得ながら、このコンテストを継続したい」とコメントがありました。

次回も多くのチームが白熱した議論を繰り広げることが期待されます。

### 》6チームによる提案内容

#### ビジネスプラン名（発表順）

プラン名	Mikke!!	発表者	石井 杏奈、小倉 瞳、平野 美優 (都市生活学部 都市生活学科 2年)
観光客をより多く誘致し、町のPRをしたい自治体と、安価で旅行をしたい学生とをマッチングするサービス			
プラン名	Direct Bridge	発表者	枝迫 雄大(環境学部 環境創生学科 3年) 豊田 直哉(環境学部 環境マネジメント学科 3年)
高校生に対して、大学進学と社会での活躍を一直線上においたキャリアパスを示すサービス			
プラン名	Layer's Agency	発表者	深谷 拓実(知識工学部 知能情報工学科 1年)
コスプレに興味のある男女(とくに男性)に、現役コスプレイヤーを派遣し、メイクの仕方を教え、メイクセットを販売する			
プラン名	地元横浜の竹を、都内で有効活用することが できるマッチングサイト「竹ログ」の提案	発表者	森山 詢也(環境学部 環境マネジメント学科 2年)
竹需要が縮小し、余剰竹の問題を抱える竹林所有者と、自然とふれあう機会の少ない都心の小学校とをマッチングする			
プラン名	Virtual 地元	発表者	田中 青空(メディア情報学部 情報システム学科 2年)
～学校や企業の垣根を超えた教育を～			
企業が有するさまざまな課題を、高校生がファシリテーターの助けを得ながら、PBL(問題解決型学習)によって解決する			
プラン名	フリオク	発表者	菅原 拓翔(知識工学部 経営システム工学科 3年)
高額な古着を借りたい若者と、在庫を減らし、利益を上げたい古着屋とを、スマホアプリでつなぐマッチングサービス			



審査の様子



発表者と審査員、実行委員長